

2024年9月20日

各位

会社名 SBIグローバルアセットマネジメント株式会社
 (コード番号 4765)
 (上場取引所 東京証券取引所 プライム市場)
 代表者 代表取締役社長 朝倉 智也
 開示責任者 執行役員 CFO 小笠原 靖行

**世界最大級の資産運用会社であるフランクリン・テンプレトンの提携商品第一弾として
 国内最安コストとなる新たなインド株式インデックスファンドの募集・設定のお知らせ**

当社子会社のSBIアセットマネジメント株式会社(以下「SBIアセット」)は、インド株式に投資を行うインデックスファンド「SBI-フランクリン・テンプレトン・インド株式インデックス・ファンド」(愛称:SBI・フランクリン・インド株式)(以下「本ファンド」)を、2024年10月7日より募集開始し、2024年10月22日に設定・運用を開始いたしますのでお知らせいたします。

SBIアセットが2023年9月22日より設定・運用しております「SBI・iシェアーズ・インド株式インデックス・ファンド(愛称:サクっとインド株式)」^{※1}は、iシェアーズ・コア SENSEX インディア ETF(香港取引所上場)への投資を通じて、BSE(ボンベイ証券取引所)の代表的な30銘柄で構成される株価指数「BSE SENSEX インデックス(配当込み、円換算ベース)」に連動する投資成果をめざすインデックスファンドです。これに対し、本ファンドは、フランクリン FTSE インディア UCITS ETF への投資を通じて、インドの大型・中型株のパフォーマンスを表す「FTSE India 30/18 Capped Index(配当込み、円換算ベース)」に連動する投資成果をめざすインデックスファンドで、インド株式に投資を行う投資信託として、実質的な負担で国内最安^{※2}となります。また、中型株も対象に含まれており、本ファンドの投資対象である「Franklin FTSE India UCITS ETF」の保有株式は200銘柄を超えています。

	SBI-フランクリン・テンプレトン・ インド株式インデックス・ファンド (愛称:SBI・フランクリン・インド株式)
投資対象資産 /投資対象地域	株式/アジア
実質的な負担 (年率・税込)	0.2538%程度
対象インデックス	FTSE India 30/18 Capped Index
主要投資対象 (ティッカー)	フランクリン FTSE インディア UCITS ETF (FLXILN)
設定日	2024年10月22日(予定)

*:ETFは上場投資信託を意味します。

*:FTSE India 30/18 Capped Indexは、インドの大型・中型株のパフォーマンスを表す浮動株調整後時価総額加重平均指数です。

SBIアセットでは、投資家の皆さまにアクティブファンドをご提供すると共に、低コストのインデックスファンドのラインナップの拡充も進めており、今回もその一環としての商品提供となります。

今後も、「顧客中心主義」のもと、低コストで良質な運用商品を提供することにより、投資家の皆さまの最適な資産形成に貢献してまいります。

以上

※1 「iシェアーズ」は、ブラックロック・グループが運用する公募ファンドのブランド名をいいます。

※2 公募の追加型投資信託として、ウエルスアドバイザー株式会社サイト(2024年9月20日掲載)より。

【本件に関するお問い合わせ先】**

SBIグローバルアセットマネジメント株式会社 管理本部 電話:03(6229)0812 メールアドレス:sbigam@sbiglobalam.co.jp

SBIアセットマネジメント株式会社 商品企画部 電話:03(6229)0170

◎フランクリン・テンプルトンについて

フランクリン・テンプルトンは、米国カリフォルニア州サンマテオに本部を置くフランクリン・リソース・インクおよび傘下の子会社で構成されたグローバルな資産運用会社グループです。当グループは75年以上の資産運用経験を持ち、世界の主要な金融市場を含む30カ国以上に拠点を構え、150カ国以上のお客様にサービスを提供しています。長い歴史の中で、数々の専門性の高い運用マネージャーを傘下に迎え、運用ケイパビリティを拡充することで、株式、債券、マルチアセット・ソリューション、オルタナティブの分野の卓越した専門性と運用戦略へのアクセスを可能にしてきました。世界中に1500人以上の運用プロフェッショナルを擁するフランクリン・テンプルトンという1つのブランドを通じて、世界中のお客様の幅広いニーズに応じたカスタマイズ・ソリューションを提供しています。2024年6月末日現在の運用総資産は約265兆円（1.6兆米ドル）です。

◎インド株価指数連動ETF（上場投資信託）の比較

BSE SENSEX や Nifty 50 がインドの大型株式を対象とした指数であるのに対し、本ファンドが連動をめざす FTSE India 30/18Capped Index は、インドの大型～中型株式を対象とした指数です。

指数に採用されている銘柄数で見ても、FTSE India 30/18Capped Index では230銘柄と、他の指数に比べて非常に多く、分散されているといえます。また、上位10銘柄の構成比を見ても、BSE SENSEX と Nifty 50 では半分以上を占めており、上位10銘柄の影響を受けやすくなっている反面、FTSE India 30/18Capped Index では上位10銘柄が1/3程度しか占めておらず、上位10銘柄の影響が抑えられています。

対象指数	FTSE India 30/18 Capped Index		BSE SENSEX		Nifty 50	
	インドの大型～中型株式		インドの大型株式 (ボンバイ証券取引所上場)		インドの大型株式 (ナショナル証券取引所上場)	
構成銘柄数	230 銘柄		30 銘柄		50 銘柄	
一銘柄当たり 構成比の制限	時価総額が最大の銘柄で30% それ以外は18%が上限		--		--	
上位10銘柄*	銘柄	構成比	銘柄	構成比	銘柄	構成比
	Reliance Industries	6.46	HDFC Bank	13.16	HDFC Bank	11.11
	HDFC Bank	6.18	Reliance Industries	10.45	Reliance Industries	8.82
	Infosys Ltd.	4.50	ICICI Bank	9.22	ICICI Bank	7.79
	Tata Consultancy Services	3.08	Infosys	7.37	Infosys	6.22
	Bharti Airtel	2.86	ITC	4.98	ITC	4.22
	ICICI Bank	2.60	Tata Consultancy Services	4.81	Tata Consultancy Services	4.06
	Axis Bank	1.84	Bharti Airtel	4.57	Bharti Airtel	3.88
	Mahindra & Mahindra	1.75	Larsen & Toubro	4.43	Larsen & Toubro	3.75
	Hindustan Unilever	1.71	Axis Bank	3.60	Axis Bank	3.07
	Larsen & Toubro	1.60	State Bank of India	3.18	State Bank of India	2.71
	上位10銘柄合計	32.58	上位10銘柄合計	65.77	上位10銘柄合計	55.63
上位5業種*	金融	22.74	金融	36.16	金融	32.77
	一般消費財・サービス	12.85	情報技術	15.29	情報技術	14.15
	情報技術	11.96	エネルギー	10.45	エネルギー	11.42
	資本財・サービス	9.55	生活必需品	8.67	一般消費財・サービス	9.46
	エネルギー	9.49	一般消費財・サービス	8.07	生活必需品	8.70

※：各インデックスの上位10銘柄および上位5業種については、各インデックスをベンチマークとする代表的なETFの情報を記載。

(参照ETF：Franklin FTSE India UCITS ETF、iShares Core SENSEX, India ETF、iShares India 50 ETF) 2024年9月13日現在。